

令和8年度日本大学推薦入試 推薦基準等説明会報告 第2弾

6月号で紹介した日大4つの学部以外の学部も、5月中旬より順次説明会が開催されました。気になった生徒は各学部のホームページやオープンキャンパスへ参加するなどして、深掘りしよう。

【法学部】

- ・国家公務員・地方公務員の合格実績が多数(439名)。
- ・法律学科上位合格者に対し、法曹コース(裁判官・検察官・弁護士など)を目指し、法科大学院と連携)の選考も実施。

【文理学部】

- ・「副専攻制度」を導入。自学科以外の科目を履修し、専門分野以外にも強みを持てるようにする。
- ・数理・データサイエンス・AI教育プログラムに準拠したカリキュラムを作っている。



【経済学部】

- ・資格取得(日商簿記2級, FPなど)や公務員試験に向けた学内講座(ダブルスクール)を実施している。

【商学部】

- ・学内で公認会計士, 税理士, 簿記検定, 公務員など, 商学部の学びに直結する資格講座を独自に開講。
- また, 特定の資格を取得した学生に対しては, 「奨励金」を支給する制度もあり。

【国際関係学部】

- ・協定校も豊富(国際関係学部のみで200校超)で, 入学後に留学意欲が高まる環境がある。
- ・新幹線通学者には返済不要の給付型奨学金を, 三島周辺での一人暮らしを選ぶ学生にはアパート代の補助を提供。

【危機管理学部】

- ・①災害マネジメント領域, ②パブリックセキュリティ領域, ③グローバルセキュリティ領域, ④情報セキュリティ領域の4つの領域を中心に, 幅広く領域を超えて危機管理の理論と実践を学べる。



【スポーツ科学部】

- ・競技者だけでなく, サポートの部分でスポーツに興味がある生徒も多数在籍している。



【生産工学部】

- ・クォーター制を導入していて, インターンシップや留学へ参加しやすい環境である。
- ・生産実習(インターンシップ)に3年生全員の参加が必須である。

【工学部】

- ・在学中, 指定医療機関(歯科もあり)で受診すると, 医療費全額の補助あり。
- ・入学前教育には説明DVDや丁寧な解説もあり, 入学後も大学院生が個別指導してくれるなど, フォローが非常に手厚い。

【松戸歯学部】

- ・WebClassというシステムで, 普段の授業のフォローアップだけでなく, 国家試験の対策もすることが出来る。

【生物資源科学部】

- ・「奇跡のワンキャンパス」が売り。東京ドーム12個分の広大な敷地に農場・演習林・動物病院・骨の博物館・スマートアグリ温室(2024年4月新設)がある。
- ・文系生徒は入学後, 極めて大変な思いをする。



【薬学部】

- ・内定率は100%を誇り, 就職先は病院や薬局が約75%, その他の分野が約25%という割合になっている。
- ・他大学と比較して第1志望への就職率が圧倒的に高く, およそ92%の学生が第1志望の企業に就職している。

進路講演会

6月17日(水)・7月1日(水)の6時間目に, 駿台予備学校池袋校の廣田徹平様・植松あり彩様を講師にお招きして, 特進クラスの高1・高2を対象に「大学入試ファーストステップ」と題した進路講演会を実施しました。7月1日(水)は高2に向けて, 6月17日(水)は高1に向けての講演会をそれぞれ行い, 最新の大学入試情報や受験に向けた心構えに関するアドバイスなど, 駿台予備学校に通っている生徒の事例を交えながら, 多くの貴重なお話をいただきました。

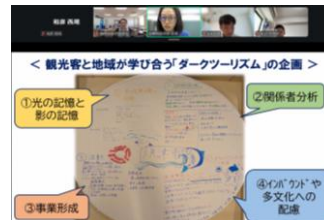
高1は学校の授業や課題に追われる日々の中で, まだ, 塾や予備校に通ったことがなく, 入試情報以外にも, 予備校はどのように受験生をサポートしてくれているのかを知ることができました。

高2は入試の基本と進路実現の考え方を中心にお話して頂きました。近年, 国公立大学志願者が減少し, それに対し私立大学志願者が増加していますが, 私立大学の中でも定員割れをしている大学も増加しており, 私立の上位大学人気が顕著になっています。国公立大学でのレベルの高い少人数教育を希望する生徒にとってはチャンスが広がっています。今年も基礎・基本をおろそかにしてはいけないこと, 卒業生の体験談(受験の反省点, 頑張ったこと)など, 実践的なアドバイスも多々いただくことができました。



高2日本大学学部説明会

7月16日(木), 高2を対象に日本大学学部説明会を実施しました。今年度も日本大学の全16学部にご参加いただき, Zoomでの実施となりました。生徒も自宅から参加し, 画面を通して様々な資料を見ることができ, 遠方にある学部の説明にも参加することができました。

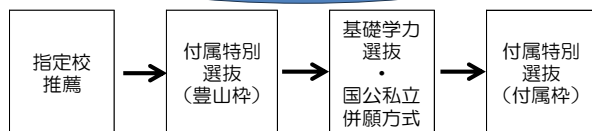


今回, 大学としてではなく各学部からの説明という枠組みの中で, 特に印象に残ったのは, 「大学では答えを教えてもらうのではなく, 自分で問いを立てて考える姿勢が大切だ」という内容でした。高校までの学習との違いを感じ, 「受験勉強はゴールではなく, 学びのスタートラインに立つための準備なのだ」と感じられたのではないかと思います。この学部説明会を通して, 自分の興味・関心と大学での学びを結びつけて考えるきっかけとなってくれば嬉しく思います。進路選択まで残された時間は限られていますが, 今回得た情報をもとに, オープンキャンパスや, 各学部のパンフレット, HPなども活用して, 後悔のない選択をしてください。

各種推薦の紹介と流れ

指定校推薦と日大付属推薦の紹介と流れについてお伝えします
(付属特別選抜に関しては紹介済みのため簡単なものにします)。

実施の順番(簡略版)



指定校推薦

指定校推薦とは、大学が豊山を指定して、個別に推薦枠を設けている推薦方式です。「豊山から進学した生徒の大学内での成績が優秀である」「進学者や合格者の人数が多い」という状況により、豊山が指定校推薦の対象となります。毎年、募集人数や推薦条件等が変更されます。

指定校推薦の募集枠は、各学科1〜2名ほどです。校内選考についての詳細はCOMPASS 7月号を参照してください。校内選考通過後は必要書類を準備して出願し、学部・学科の指定する選考(面接・小論文・基礎学力検査・口頭試問等)を受けます。合格後は必ず進学をしなければいけません。

付属特別選抜(豊山枠)

総合序列や評定・資格を基にして校内選考を実施します。校内選考通過後は、出願に必要な書類を提出した後、学部・学科の指定する選考(面接・小論文・口頭試問等)を受けます。

基礎学力選抜

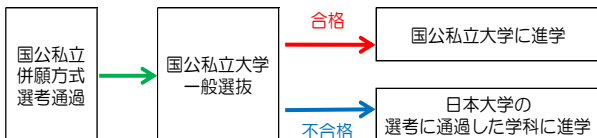
基礎学力到達度テストによる順位を基にします。「高2(4月)」「高3(4月)」「高3(9月)」の合計3回のテストの標準化得点によって付属生内での順位が確定し、その順位を把握した上で、第1志望から第3志望までセクションに出すことができます。

国公立併願方式(New)

今年度から「国公立併願方式」が「国公立併願方式」に変更となりました。基礎学力選抜と同様の順位を基に、セクションが一度だけ実施され、第1志望から第3志望までエントリーできます。「日本大学以外の私立大学」または「国公立大学」の一般選抜を受験予定の生徒が対象ですが、以下の注意点があります。

※他の選抜との併願はできません。

※国公立大学の一般選抜に合格し、かつ進学する場合に限って、日本大学への入学を辞退することができます。



付属特別選抜(付属枠)

校内選考は実施せず、評定・資格などを基に出願します。実施する学部・学科は一部で、付属生全体で数名の募集です。その後、指定の選考(面接・小論文・口頭試問・実技等)を受けます。

指定校推薦の注意点

①指定校推薦だけを狙わない → やりたい分野を見つける

指定校推薦の大学・学部・学科は毎年変わります。高3になって、学びたいことを学べる大学・学部・学科が指定校推薦で受験できるなら、校内選考に申し込むという心構えが良いでしょう。

②資格・履修・条件に注意 → 英検等の検定も受験しよう

評定だけでなく、英語の資格が必要となる場合や共通テストを受験することが条件となっている場合があります。大学・学部・学科によって出願条件は様々です。よく確認しましょう。

School Visitors



本校には大学・専門学校・塾などから多くの方々が来校し、生徒のために情報や教材を提供していただいています。年間100名以上、今学期だけでも30名以上の方々来校したので、一部ではありますがその紹介、または有益な入試情報を確認して下さい。

○株式会社ライセンスアカデミー(新宿区)

本校が長年お世話になっているイベント業者です。高1の進路適性検査や特進クラス対象の他大学説明会の企画に協力してくださいます。

○株式会社Gakken(品川区)

各学年の小論文に関して、教材の準備や添削を行っていただいています。近年は高3の面接指導講演会や志望理由書対策講座も開催しています。

○東京電機大学(足立区)

電気・機械の分野のエキスパートを育てる大学です。近年は、情報・建築デザイン分野にも人気が出ていて、幅広い人材を募集しています。数理・データサイエンス・AI教育プログラムにも力を入れていて、学生の基礎的能力の育成に取り組んでいます。

○武蔵大学(練馬区)

「ゼミの武蔵」で有名な大学で、1年次からゼミナールが設置されています。新カリキュラムでは社会学部メディア社会学科の中に「情報社会デザイン専攻」を新設し、国際教養学部国際教養学科に「経済・経営・国際関係専攻」「ビジネスデータサイエンス専攻」を新設します。また、ロンドン大学学位連携プログラムもあり、ロンドン大学の学位も取得できます。



8・9月の進路行事

- ・ 8月28日(金) 志望理由書対策講座(高3希望者)
- ・ 9月2日(水) 基礎学力到達度テスト
直前テスト(高3)
- ・ 9月5日(土) 保護者会(高3)
- ・ 9月24日(木) 基礎学力到達度テスト(高3)
- ・ 9月25日(金) 基礎学自己採点(高3)



8月28日(金)に実施する高3対象の志望理由書対策講座は、専門家にてもらえる最後の機会になります。また、推薦の場合は10月に志望理由書を書く生徒が多いはずですので、積極的に参加をしてください。1日限りの3時間で完結します。8月3日(月)までの申し込みです。

9月2日(水)の高3基礎学直前テストは、総合序列にも反映される重要なテストです。内容は基礎学力到達度テスト(9月)と同じ4科で、本番を想定した予想問題という位置づけです。高1・2は錬成テストがありますので、しっかりと準備をして取り組んでください。

9月24日(木)の高3基礎学力到達度テストは、今後の進路に大きな影響を与えるものになります。どのような理由であれ、**未受験の場合は日大への推薦に影響しますので、必ず受験をしてください。**その後の進路スケジュールについても、自分の可能性を信じて進んでください。豊山生はこの9月で結果を出す生徒が多いです。健闘を祈ります。

高3の夏休みは、「人生で最も自分の計画どおりに勉強できる期間」になります。自分の人生は自分で切り拓くという意識で、計画・実行・繰り返しなどを行いましょう。

次回10月号は、9月30日(水)発行予定です